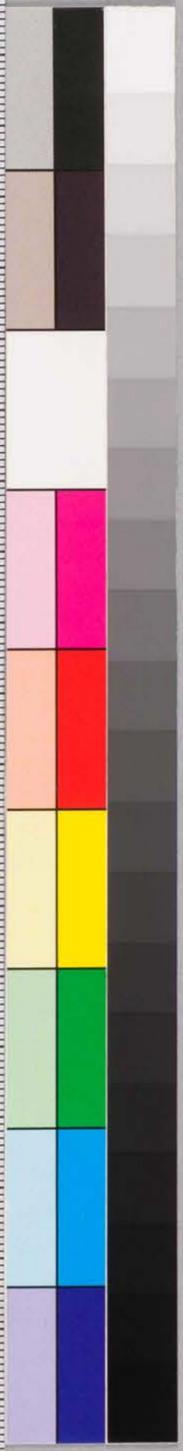
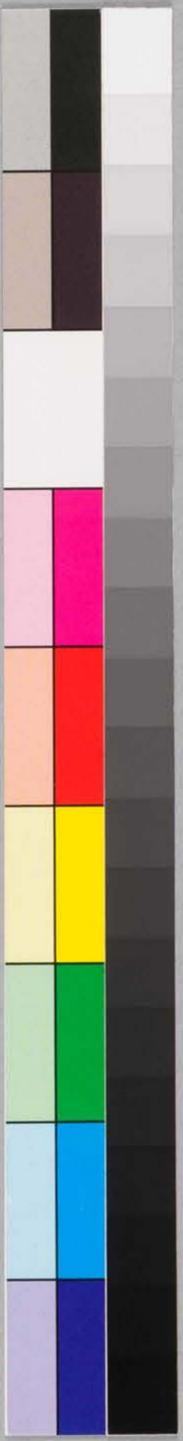


遊齋小兒方

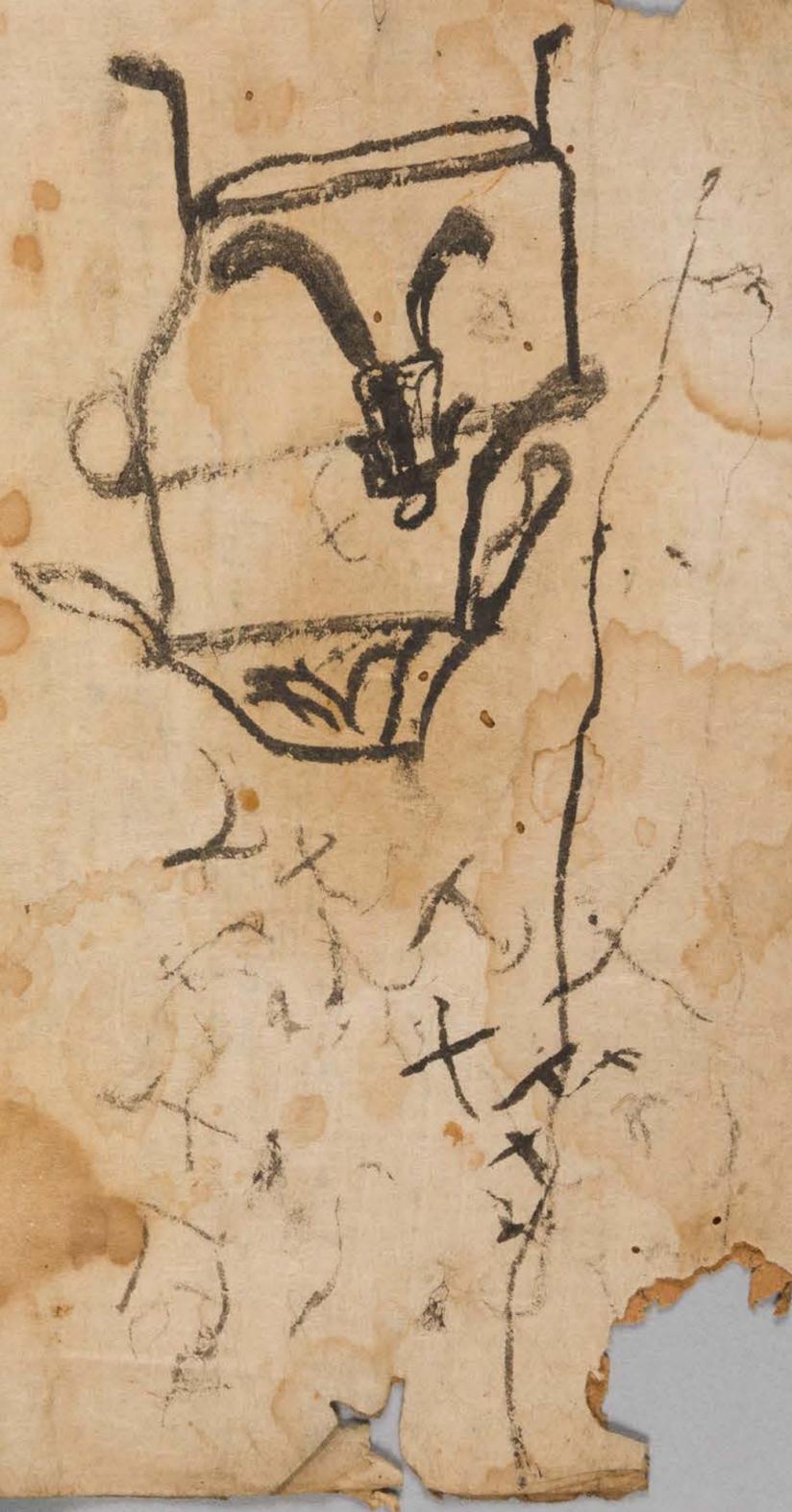
寛永十九年

曲直瀬道三





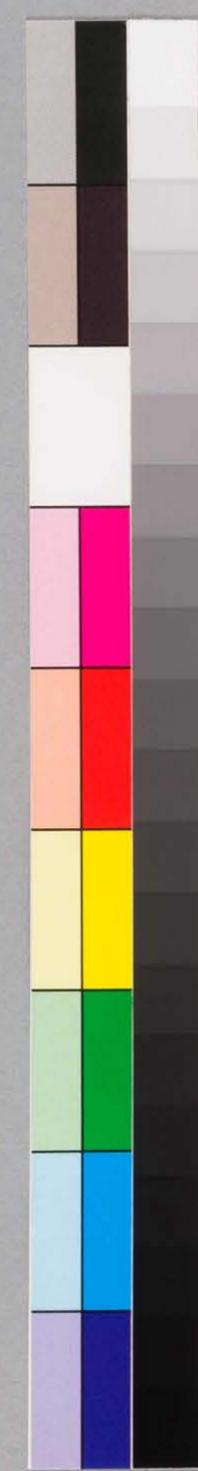
美
尺十四
の
の
の
の



第一 小児二
 日向うむ
 第三 日五を
 第五 五二の
 第七 五二の
 第九 小児の
 第十一 小児の
 第十三 小児の

第十 小児の
 第十二 小児の
 第十四 小児の

1
 遐齡小児方 一巻 写本
 永祿十年(一五八八) 曲直瀬
 小児科専門書初め(遐齡と付左かき
 のこと)小児科の独立した著書として日本
 最古のもゝ、書誌学的に有るである。
 矢野龍渓
 高橋写真製作所
 東京(551) 5715
 神奈川(551) 4566

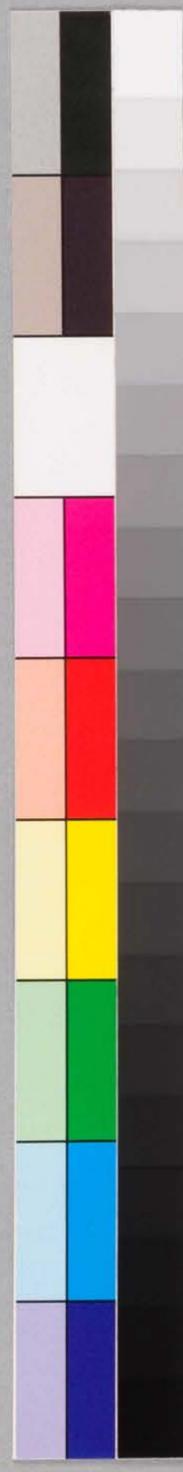




Handwritten Japanese text, possibly a list or notes, located on the right page below the drawing.

第一 小児ニテ此ノ
 白五ノ此ノ此ノ此ノ
 第三
 第五
 第七
 第九 小児ノ此ノ此ノ
 第十一
 第十三 小児ノ此ノ此ノ

第二
 第四
 第六
 第八 小児ノ此ノ此ノ
 第十 小児ノ此ノ此ノ
 第十二
 第十四



弟妙茶書

翠竹院ト号

文

第一

遊う鈴しん小兒せうに方かた 日東にっとう各かく下げ雖すなは知ち既い編へん道どう三さん

夫と小兒せうに

精神せいしんをを治ちすす。脈みやく理りをを治ちすす。疾しやく痛うをを治ちすす。おおいいははいいははいい。

たたししくくすす。脈みやく理りをを治ちすす。おおいいははいいははいい。

ししいいななああくくもも。おおいいははいいははいいははいい。

小兒せうに鹿か口くち乃の。命いのちをを治ちすす。おおいいははいいははいい。

小兒せうに鹿か口くち乃の

三二一

一 肝乃藏乃... 目乃...
 一 腎乃... 小便...
 一 腎乃... 小便...
 一 腎乃... 小便...

第四

肺乃藏乃... 木通... 桔梗... 甘草...
 脾乃藏乃... 大服皮...
 一 兩... 一 兩...

三々名をくらげのめじ大便の白し平旦より飲む。
くらしをくらげの目うと流く人らくらげの目うを
ゆだちくく目うじをへし

右五疳乃りあけておろくく此をく心ゆきをへ
五黄丸 是ハ何れも二も吞ら之 何れ乃らうを業之
人参一分を座く一分にくはく三分をじ二分
がまのつ一分を座く二分を座くサをへるふし少
志厚く海く少ふがーサをへるふし
右いはいしつあち乃らこく合丸じ。それら
いはい乃ら二も何れに吞ら之 是二をく海くあり

五疳乃りあけておろく 木香 一兩 丁香 一兩 藿香 一兩
芍薬 一兩 之をく 一兩 沉香 一兩 甘草 一兩 當歸 一兩
いはい 二分を座く 右何れも細末をへるふに流く
おははくゆいて。あちたてくせあち乃ら何れと吞ら。
あびし五疳下し。たいあ石 一分 赤石 一分 之をく
ちつニリ。右是ははに丸吞ら之。くらハと海海はか
ゆはくを流く。口傳ふ人志厚く加へてう
座せたり。二もあちをへるふ
同あびしく下し。大破石 一分 赤石 一分 之をく 杏仁
各々之を加減。ほはい。あちを座く。人参 各々之を加

桂心散 頭乃。わいら。あまら。を治す。けいせんと。さ
る。益母草。めい。右。小。あま。の。じり。あま。か。べ。

うら。の。い。わ。小。付。ふ。つ。に。し。や。つ。せ。よ

第乃痔。脾胃乃病。身乃。治。い。治。え。か。二。治。之

又。大。痛。小。う。り。あ。ゆ。い。し。も。さ。さ。て。の。り。か。い。を

虚。し。氣。血。乃。う。治。い。ほ。ら。せ。て。生。る。之。目。あ。や。り。て。

治。を。こ。あ。け。を。治。す。あ。く。あ。て。あ。ゆ。い。し。さ。こ。を。

こ。の。こ。で。は。い。ち。か。い。あ。ゆ。い。し。ほ。ら。を。く。い。身。う。さ。

い。そ。さ。あ。わ。く。あ。ろ。く。さ。い。あ。ん。あ。ら。を。さ。う。一。は。り

い。ろ。あ。げ。く。う。り。也。ち。う。ふ。ら。也。が。い。き。い。そ。こ。う。こ

あ。く。か。ら。あ。ま。さ。あ。え。く。を。治。す。く。さ。う。と。あ。え。

厚。也。水。印。め。じ。是。う。ち。之。乃。治。す。ん

第五肝乃痔。あ。ま。治。け。を。さ。さ。い。さ。う。り。地。黄。丸。う

心乃痔。あ。ま。治。す。い。わ。に。わ。う。あ。く。あ。え。神。の。あ。ん。え

安神丸

脾乃。あ。ま。治。す。あ。え。腹。あ。ま。う。ふ。治。ら。を。あ。ろ。く。せ。

益黄丸

肺乃。あ。ま。治。す。い。そ。で。せ。ん。さ。く。あ。ろ。あ。て。を。い。く。を

清肺湯

腎乃。あ。ま。治。す。い。そ。で。せ。ん。さ。く。あ。ろ。あ。て。を。い。く。を

骨乃。あ。ま。治。す。い。そ。で。せ。ん。さ。く。あ。ろ。あ。て。を。い。く。を

地黄丸

筋骨痛ハ... 血行をよめて... 地黄丸

地黄丸

骨痛... 地黄丸

肉痛... 地黄丸

外痔... 白木散

五痔... 胡苗蓮丸

痔ノ氣血... 白木散

胃乃氣... 白木散

積乃痛... 清積丸

安中丸

地黄丸

肝腎... 地黄丸

地黄丸

地黄丸

地黄丸

地黄丸

地黄丸

地黄丸

クハクハク 一兩一分 二兩一分 半兩 二兩

地黄丸 肝腎乃 風を治すの丸 各三分 たくちや ぼんぶん 白

茯苓 各五分 右末を 蜜を丸 治す用

益黄散 脾胃乃 運冷を治す 一兩

青皮 二三分 各半兩 丁子 一分

右味を 食前 におはく 服をへし

白木散 積痛を治す 胃を厚らげ 志

小兒 乾薑 二兩 右剉煎て 温服す 小兒 吐ゆる時 温服す

人参 白木 木香 白茯苓 甘草 藿香 各二兩

乃 おあさ 地味 のこ 病を 治す

見生て 湯を おはく 湯を 湯を

二 草 黄 蓮

・本草・黄蓮。そくが小毒。粉小毒。くちくちうら二

わう。の海をべし。又志ん志や。しんねん。らん分

右味あり。生蜜え。二種て。まこし。七日をうり。

の海を其二世乃心じ

見乃ほそ乃。ほそ乃。ほそ乃。風お

ほそ乃。おく。おいて。らとの海をうら。しんねん

を。くちくちうら。三味と。そくが。しんねん

を。しんねん。おく。おいて

見乃ほそ乃。うら。志ん志。しんねん。明乃粉を付

見生也。おく。おいて。しんねん。おく。おいて

を。くちくちうら。おく。おいて。しんねん

へし。日。風。おく。おいて。しんねん

見乃ほそ乃。おく。おいて。しんねん

の海をべし。うら。うら。おく。おいて

を。くちくちうら。おく。おいて。しんねん

を。くちくちうら。おく。おいて。しんねん

を。くちくちうら。おく。おいて。しんねん

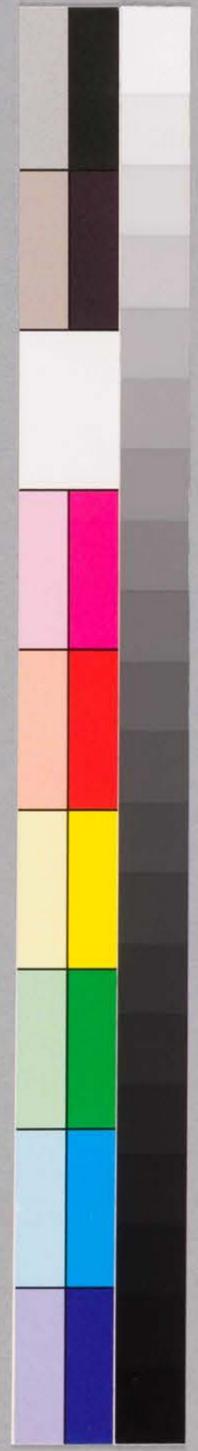
を。くちくちうら。おく。おいて。しんねん

又。おく。おいて。しんねん

見乃。おく。おいて。しんねん

見乃。おく。おいて。しんねん

小兒。はとちりて。あさ。おりて。あを。治す。白木。花
 苓。人參。細辛。桔梗。甘草。各ホコシ。を。ろ。之。煎
 口。君子。湯。小兒。乃。虫。小。吞。之。人參。霍。香。子。子
 大。黃。蘆。菔。檳。榔。子。白。芷。青。皮。紫。蘇。白。木
 茯苓。各。一。兩。之。甘草。上。十二。味。右。煎。用。之。
 驚。風。乃。茶。土。龍。石。を。煎。之。油。を。ろ。り。て。合。て。糊
 之。是。は。と。に。丸。を。て。五。粒。三。粒。は。用。之。
 保。童。里。名。小。兒。乃。疳。氣。乃。茶。一。兩。青。皮。一。兩
 檳。榔。子。一。兩。三。陵。一。兩。丁。子。二。分。便。君。子。三。分。海。粉。二。分
 黒。燒。を。て。い。つ。と。右。何。も。粉。を。て。糊。て
 粟。は。ぶ。は。と。小。丸。を。て。ろ。り。て。五。粒。三。粒
 便。君。子。凡。小。兒。も。大。人。男。女。も。三。分。又。水。腫。脹。滿。も。
 人參。干。姜。肉。豆。寇。木。香。益。知。子。膝。當。歸。青。皮
 史。君。子。熊。乃。胃。各。一。兩。宿。破。蘆。會。各。二。兩。莪。木
 二。分。黃。連。三。兩。甘。草。一。分。上。熊。乃。胃。を。炒。り。て。丸。を
 右。小。兒。良。茶。之。は。炒。合。り。て。水。を。ろ。り。て。丸。を
 乃。大。虫。痛。脹。胸。お。腹。を。一。莪。木。木。香。胡。株。陳。皮
 各。一。兩。三。陵。干。薑。各。二。兩。あ。さ。一。分。是。ハ。麥。乃。糊。を
 粉。を。て。ろ。り。て。二。炒。り。て。地。小。丸。を。て。あ。は。ち。い。て。は。り。て。



二朱射香二分 熊乃膳 二朱辰砂を水に溶かして
こりいり酒 右味をて糊を蓋 麦乃粉 二分小
麦乃粒粉 二分合てうきゆりて用る。是は活と小

右乃丸茶湯はうい乃事

心痛六 木香湯にて用る

中毒六 甘草湯にて用る

氣噎六 薄荷湯にて用る

咳嗽六 杏仁湯にて用る

口乾煩渴六 生葉湯にて用る

頭風頭痛六 荊芥湯にて用る

赤白痢六

寸白六

四肢不収六

中風六

眩暈六

吐吐六

訶子湯にて吞

檳榔湯にて吞

酒酒にて吞

防风湯にて吞

芍薬湯にて吞

丁子湯にて吞

腰痛六 桃仁湯にて用る 已上可秘を

虫積血うらひ 槐三良 血塊積うけ下ろした一度

吞る菜之虫乃うらひ乃 槐六 何もある 天乃虫を

小妙人 又三粒 此の是程にて粒用ゆべし

荜苾仁 雷丸 麝香 青皮 莪朮 三稜 二兩

檳榔子 けいこし 各二兩 鑄銀 二兩

右細末をて 麵粉をのりにして 程三九せよ

散聚湯 九虫三良 五積三良 干姜 呉茱朮 木香

莪朮 之れより 湯にて用る 是は活と小

甘草 右せしじ用る 二れハ一良 是は活と小

用いたる薬に

虫茶 痛脈を系ふる者一 二兩 二分
うまのつ 二分 初らるじ 二分 座海り 五兩

右ふふてゆえ用ら

十兩

同方ニ小くくらえにちり一 座海り
ニ多しニ多しニ多しニ多し 右三つをふてのほとに
分とあて 十兩 右粒塩ゆて用らたし ぼそり
うまのつをさゆて用ら

温中散

うまのつをさゆて用らて じ志をくらえ

うまのつをさゆて用らて じ志をくらえ
うまのつをさゆて用らて じ志をくらえ
うまのつをさゆて用らて じ志をくらえ

甘草 右のりほそ。ほとに分とし 七粒ゆて用ら

三稜丸 虫積聚を吞らぬ者 二五

うまのつをさゆて用らて じ志をくらえ

同方 裁木散 虫積聚 癥瘕乃秘茶 道三家乃茶之

うまのつをさゆて用らて じ志をくらえ

うまのつをさゆて用らて じ志をくらえ

うまのつをさゆて用らて じ志をくらえ

積聚乃何腫 有代知子 肝乃癥 六土用ニおし

心ハ秋ハ心 肺ハ春ハ心 腎ハ夏ハ心 脾ハ冬ハ心

けいこくかろん 灸をどきあそもけいこく 仙姑の症
桑山の茶リ 多分く 六つ久 二つりちう 小児乃久の虫

一兩 補骨脂 一兩 黒糖 二斤 海石 二斤 右のつ 三斤 右のり

らやじ 三斤 右六味粉 三斤 丸て 正月乃 右のり

五癩百癩乃 張湯を 右のり 右のり 右のり

十さむらり乃 廿六 癩を 右のり 右のり 右のり

のりげ 生をり へけ 菜妓之 丹 楸石 二斤

牛黄 一兩 麝香 二斤 右のり けを 地 二斤 右のり 冊を合

丸て 毎服 十粒 一ハ

丸粒を 三三 乃 廿七 地を 服を へし 一月 二三 服を

三生飲 乃 癩癩を 治す 天南星 一兩 川鳥頭 半兩

附子 半兩 木香 半兩 右細 割合て 治す 一乃 外を

水 二斤 入を 下り 後片 入六之 廿七 して 治す

わさく 小を して 治す 小 二斤

白朮・人參・山茱・茯苓 各二錢
甘草 一錢

みょうじ 生姜 一錢
芍薬 一錢
桔梗 一錢
以上煎服

又芍薬 一錢
吐逆 一錢
陳皮 一錢
生姜 一錢
以上

物 一錢
陳皮 一錢
生姜 一錢
以上

胃中 一錢
陳皮 一錢
生姜 一錢
以上

麥門冬 一錢
香附子 一錢
生姜 一錢
以上

食物 小脾胃 一錢
生姜 一錢
厚朴 一錢
陳皮 一錢
縮破 一錢
小右 一錢
以上

久病 乃 胃 一錢
人參 一錢
黃芪 一錢
以上

各中 藿香 一錢
生姜 一錢
麻 一錢
甘草 一錢
煎服

春 夏 秋 冬 一錢
良香 一錢
以上

嘔吐 一錢
肉豆蔻 一錢
五兩 縮破 一錢
丁子 一兩
以上

くらし。黒く。急はゆふ代。おけ。そは

當飯 甘草 柴胡 連 黄芩

黄芩 一各 地骨皮 二各 右服用

門冬散 麦冬 人参 甘草 陳皮 白木 厚朴 粉

右 煎て 温小 服用

如聖散 疹 紫草 二兩 陳皮 一兩 右服用

右 煎て 温小 服用

代毒湯 疹 紫草 二兩 陳皮 一兩 右服用

紫草 芥麻 甘草 糯米 五十リ

煎 温 服 疹 紫草 二各

右 煎て 温小 服用

目 頭 二 三 服

黑豆湯 黑豆 一各 右服用

黄連散 痘 疹 毒 氣 右服用

有 汗 黄連 一味 煎 服

黄蘗膏 痘 疹 是 汗 煎 服

黄佰一兩 新菜豆一兩 車草一兩

右粉三 海乃あひら 車乃ゆゑ 海乃ゆゑ

小兒は 海乃あひら 車乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ

海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ

痘疹そ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ

海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ

海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ

痘疹そ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ

痘疹そ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ

黒くい 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ 海乃ゆゑ

芍薬しやくやく 陳皮ちんひ 右性うせう 海乃ゆゑ

小児の病をせざる業リ。たゞ是をまじへし。

●ふがー一兩 たいしん一兩 けいせき一兩 ちんぎょ一兩 ちんぎょ一兩 右二海ふあて。是れが丸じ。

ちんぎょ一兩 右二海ふあて。是れが丸じ。

此粒は用ら。又此本丸。うりて此丸ふ。りつじ。

小児いし乃。茶を厚く。あわら。此之。作小丸。あてら。

●あも小丸をり。金らく。五ゆい。右うく。あてら。海ふ。

きくついで。是はどゆら。あも丸。あり小く。

らん。のこあ海ハ。あ。此本丸。海ふ。あて。和一丸。

三むお。ちんぎょ。りしん。二をひ入て。七分。煎。その

海ふ。一ツ子。三子。二ツ子。み粒。いづし。け

いゆえ。粒をゆいて用ら。せきや。病むさ。ハ。海

ふらさ。小。吞ゆ。六せぬ。あ。此。海。あ。う。

あ。厚。し。も。用ら。い。し。ぞ。は。う。く。う。あ

●あ。し。も。用ら。う。あ。し。あ。さ。妙。業。之。

●瘰癧乃。妙業。ちんぎょ。ふ。し。う。天石。茶。一。服。は。ど

●葛乃。粉。茶。一。く。は。ど。合て。水。小。た。く。吞。三。日。が。あ

あ。く。目。り。し。は。り。あ。一。ツ。二。ツ。そ。ら。乃。口。さ。右。乃。業

を。用。ら。う。あ。い。で。は。り。ハ。そ。乃。海。う。せ。海。ハ。心。小

い。そ。る。ハ。そ。海。く。そ。り。い。う。あ。小。い。て。は。り。ハ。あ。海

さ。れ。い。ら。乃。そ。う。く。あ。し。海。人。い。ら。る。あ。く。あ。り。は

三子 一子 一子 一子

右剪し。吞火し。強流をなく。あく。犀角

乃。粉を。せじ。其。業乃。り。担。さ。た。吞

小兒乃。傷寒と。痘疹之。狀。見。し。く。ゆ。多。傷寒

おのこ。あ。は。体。切。く。却。て。黄。小。お。な。こ。あ。は

お。て。あ。う。せ。ん。く。し。結。ん。し。く。あ。ら。い。さ

あ。く。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ

一。瘡。疹。乃。は。う。ち。あ。つ。ま。り。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ

春。交。の。湯。氣。を。の。け。し。時。乃。瘡。疹。ハ。順。之。良

秋。冬。ハ。湯。氣。を。の。け。し。時。乃。瘡。疹。ハ。亦。之。あ。く

二。便。は。補。乃。こ。ろ。く。あ。ら。い。さ。食。を。海。地。ハ。實。こ。ろ。く。あ。ら。い。さ

二。便。利。を。て。あ。ら。い。さ。地。ハ。便。之。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ

お。あ。ら。い。さ。瘡。疹。乃。は。順。之。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ

た。瘡。疹。ハ。伏。を。て。そ。ふ。く。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ

三。次。ニ。そ。大。小。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ

一。瘦。小。乃。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ

傷。寒。乃。熱。表。に。有。ら。ん。下。を。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ

セ。ハ。汗。を。い。う。て。さ。む。あ。ら。い。さ。あ。ら。い。さ

42
2057

第
妙
菜
書

